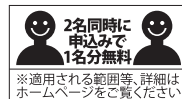


理解が深まる、実験実習も実施！粉体化粧品の機能・使用感を制御するための粉体知識や製品開発のための粉体技術、機器評価・官能評価などを商品開発の実績に基づいて詳しく解説



粉体化粧品の機能・使用感制御のための 粉体物性の理解と機器評価・官能評価手法

～光沢感・透明感・持続性・塗布感などを制御するための知識と粉体技術～
～紫外線・近赤外線防御遮蔽効果と使用感の両立など～



日時	2019年11月13日(水) 10:30～16:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 5F 第2講習室
受講料	49,500円 ⇒S&T会員 47,020円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価:本体45,000円+税4,500円 会員:本体42,750円+税4,270円)		資料・昼食付

講師 近畿大学 生物理工学部 教授 農学博士 鈴木 高広 氏

趣旨 2000年以降、肌理の細やかさと透明感のある明るい素肌のような外観を演出するファンデーションが主流となりました。このトレンドを生み出した化粧料が合成マイカです。そして、健康的でゆとりのある生活感により肌質がいつそう進化する令和時代の日本人の肌を美しく装うファンデーションには、新たなメイク効果をもたらす原料開発が求められています。

同一原料から仕上げた合成マイカ化粧料でも、アスペクト比と形状を変えるとファンデーションの外観は劇的に変わります。また、粉体の表面処理により心地よい塗布感や持続性も大きく変化します。従来パウダー品は肌を乾燥すると考えられてきましたが、実際には保湿化粧料が肌の水分蒸散を加速する場合があります。これを防ぐためにパウダー品が重要な役割を果たすことも最近の研究から明らかになりました。

本講座は、ファンデーションに用いられる体質顔料や着色顔料、紫外線散乱剤などの無機粉体や有機成分の化学構造と形状に基づく物性・機能によるメイク効果のメカニズム・課題等を詳しく解説すると共に、保湿効果や使用感効果を機器評価により数値化する手法と、実際の粉体化粧料や商品開発方法について解説します。そして、実際の粉体原料を用いた実験実習により、新たなファンデーションのトレンドを創出する着眼点について理解を深めます。

プログラム	1. ファンデーションの粉体技術と市場動向 1.1 日本人の肌環境の変化とファンデーション人気復活の兆し 1.2 使用動作と使用感の知覚要素 1.3 メイクアップ化粧品と粉体技術; 体質顔料・着色顔料・光学的微粒子・結合油剤 1.4 化粧品開発における人工知能AIの応用に不可欠な機器分析データ	3. 肌の光老化防御と紫外線・近赤外線の遮蔽技術の設計方法 3.1 紫外線・ブルーライト・近赤外線による肌の光老化と防御剤の特徴 3.2 SPFとPA 3.3 紫外線・近赤外線遮蔽複合粉体の設計と使用感の改良 3.4 湿式充填プレス法と乾式粉碎プレス法の特徴 3.5 湿式スラリー複合化と攪拌乾燥・溶媒回収工程の1ステップ連続処理プロセス 3.6 処方を変えずに紫外線・近赤外線防御効果を高め使用感を改善する要点
	2. 粉体化粧品の使用感の官能評価と機器分析の基礎 2.1 ツヤ感と透明感のある明るい肌と、マットな隠ぺい力をもたらす粉体物性の違い 2.2 アスペクト比と粉体形状係数 2.3 フワッと軽くのびる粉体の心地よさと嵩密度と動摩擦係数 2.4 均一にのびてピタッとつく付着力と分散性と結合油剤の影響 2.5 隠す効果とぼかす効果の光学的機能の差異と粉体形状と屈折率の関係 2.6 化粧くずれを防ぐ持続性の官能指標と粉体の物性機能 2.7 ファンデーションの皮脂濡れによる外観変化と撥水撥油効果をもたらす表面処理 2.8 肌水分率計を用いた保湿効果の盲点と角層被覆切り餅試験法の特徴と応用 2.9 製品開発に用いる機器分析の常用項目	4. 実験実習: 粉体物性の機器評価と官能評価 4.1 粉体原料と製品ケーキの高密度 【実習】 4.2 落下強度試験 【実習】 4.3 粉体の色(L*, a*, b*)と光沢と隠ぺい力 【実習】 4.4 粉体の濡れ性 【実習】 4.5 肌スコープを用いる粉体表面の接触角測定による撥水度と撥油度の評価 【実習】 4.6 化粧品の保湿効果 【実習】 4.7 粉体の滑らかさ 【実習】 4.8 粉体表面処理による複合化と評価方法 【実習】

□質疑応答・名刺交換□

■2名同時申込みで1名分無料■
(1名あたり定価半額の24,750円)

※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。
 ※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。
 ※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。
 ※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。
 ※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。 ※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 B191113 (粉体化粧品)

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。
 ※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

今後のご案内	
<input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み <input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み <input type="checkbox"/> 希望しない	S&T会員価格を 適用いたします。 (E-mailアドレス必須)
お支払方法	
<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日) <input type="checkbox"/> 当日現金払い	
通信欄	

●受講料について
 「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。
 ●お申込みについて
 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
 また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
 お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
 ●お支払いについて
 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
 銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
 振込手数料はお客様が負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
 ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
 詳しくはホームページをご覧ください。
 ●キャンセル規定
 開催日から逆算(営業日・土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
 ・開催7日前以前のキャンセル: キャンセル料はいただきません。
 ・開催3～6日前でのキャンセル: 受講料の70%
 ・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%
 ※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

サイエンス & テクノロジー
 研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
 サイエンス&テクノロジー株式会社
 TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
 〒105-0013
 東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
 http://www.science-t.com